

# ひろば大代

NO.206

大代公民館

「大代にクマ現れる！」

去る八月十八日午前七時半頃、植松の小笠原貞己氏の川上の旧宅の裏の杉林に仕掛けていた猪捕獲用のワナに、ツキノワグマ一頭がかかっているのが発見され、小笠原さんが大田署に届け出た。

クマは体長約一、七メートルの四才の雄で県と市は手負いの為危険と判断し、同日午後二時半頃大田猟友会員二名により射殺された。



写真（中国新聞社提供）

大代の歴史に詳しい渡吉正氏によれば「近代（明治以降）では大代にクマが出たとの記録は全く無い」との事。これから高山登山の最適の時期に入るので、お互いに充分注意し合いますよう。

## 祝敬老の日

多年にわたり地域に貢献、また子弟の育成に努めて頂いた先達の方々に對し、国民こそって感謝の意を表し長寿のお祝いをする日です。

大代町では九月十五日（日）午前十二時半から旧中学校屋体に於て二百十二名の方々を対象に敬老会を開きます。町民の皆さん、ご協力の程よろしくお願い致します。

計	女子	男子	70代	80代	90代	合計
148	90	58				
55	29	26				
9	6	3				
212	125	87				

◎米寿の祝（八八才）二名（敬称略）  
渡井サダノ（川上）明治41、2、2  
泉 スミ（上飯谷）明治41、3、12

◎喜寿の祝（七七才）十名  
松井土幸 山根菊恵 山口正實  
友成静江 山本文江 高崎 緑  
熊谷政子 窪田フサヨ 高村夏雄  
渡利マツヨ

◎新入会員 二十名

## 「喜寿を迎えて想うこと」

本郷 松井土幸

「人生僅か五十年」と言う諺は消え去って、今では平均寿命も七十五才を越え、私もその峠を越えることが出来ました。

子供の頃可愛がってくれた私の祖母は、いずれも人生五十年で世を去っています。当時四、五才だった私の中には、床に伏したおばあさんが、今の自分の年齢をはるかに越えて見えませんでした。その祖父母が、生前私が生まれた時、家業を継いで農に励むことを期待し、土に幸いするように土幸と名付けたそうです。

結果は両親の期待に反して、当時旧満州で建設業を営んでいた親戚の叔父の誘いで、大陸に行くことになりました。義務教育を終えたばかりで、進学出来る期待と見知らぬ新天地への不安を背負い、宅急便と同じ行き先を書いた名札を胸に縫い付けてもらい、故郷を後にしました。遠い外地へ一人で送り出した両親の心境はどんなものだったろうか。当時が想い出されます。

七十七才を迎えた今、あの波乱に満ちた終戦の生死の崖に立たされた當時を思い起こすと、とても口では言い尽くせないものがあります。

私達の勤めていた旧満州にもソ連軍が進駐して、主な施設は接収されました。後で判ったことですが、その頃同じ寮にいた都野津町出身の方が私の家を訪ねて見え、「松井さんはソ連軍が入った時、通訳をしていたから、多分ソ連に連行されたと思う」と教えてくれたそうです。(実際には通訳とは名ばかり、机上で教わった単語を並べてごまかしたもの)

引揚邦人の最後になったことで家の方も覚悟していたそうです。

喜寿を迎えての感想からはみ出しましたが、これからの日々を大切に送りたいものです。

「七十七才を迎えて」

椿 高崎 緑



原稿の依頼を受け、私も喜寿を迎えたのだと改めて感じさせられました。

戦前戦後を思い起こすと余りにも早

く戦後の五十一年が過ぎ去りました。本当に夢のように感じております。社会福祉の向上と医学の進歩は、私達に長寿をもたらして下さり、戦時中の生活を思い出すと、全く夢の様な今日で現在の生活に感謝しております。

過日平均寿命が報道されました。それによりますと男が七十六才、女が八十二才とあり長寿社会となりました。私どもの家族は別々で、子供達は都会での生活ですので、私達老夫婦はいつまでも現役として生き抜かねばなりません。

お互いに趣味を持ち、健康で与えられた余生を素直に生き、愛される老人として人様に迷惑をかけぬ様、心がけていきたいと思っております。

第十一回「都市とふるさとを

結ぶ交流会」を終えて

大代石見高山会会長 市原仁郎

今回の交流会は公民館長の選任が遅れた為、六月二十八日の理事会開催から二度の代議員会、最終の会場設営の責任者会議へと続いた。

以前から言われて来たことであるが「マンネリを打破するにはどうしたらよいか」「婦人会の負担を軽くするにはどうするか」「出来るだけ多くの人に集まって貰うにはどういうイベントが考えられるか」等例年の如く真剣な討議がなされた。

その結果「今年は思い切ってシンブルイズベスト(簡単な事は良い事だ)で行こう。それで焼き肉会をやって、開会行事も午後四時からにして、田植囃子は今年中止にして婦人会のお手伝いも午前中のみにしよう」ということになった。

焼き肉会については「O-157」問題が起きた最中であり、非常に開催が懸念されたが、一度決定した事であり食材も手配済みであったので強行する事にした。

最も心配したのが台風十二号の影響であったが、幸いにして前日に通過したのでさわやかな好天に恵まれ、多数の帰省客の参加を見たことは成功であった。椿出身の大田警察署長・山根節男さんより祝辞をいただいたのも有り難かった。

この交流会を成功に導いた多くの関係者の方々に深く御礼を申し上げます。

### 「交流会の経過報告」

運営委員 谷口俊美

懸念された台風十二号も幸いしたる被害もなく早天の慈雨となった。八月十五日は早朝より天気が回復し、帰省客も町民も安堵の中、第十一回都市交流会が開催された。

午後四時日向運営委員長の司会により式典を行い、この一年間の物故会員のご冥福を祈り一分間の黙祷を捧げた後、主催者大代高山会々長市原仁郎氏により、「今年は例年とは趣向を変え焼き肉会とした。わがふるさととは益々高齢化と過疎が進むがなんとか頑張りたい」と挨拶。

祝辞は東京石見高山会々長田中憲経氏より「八月十四日雨の中、水明カントリーで三十名の大コンペが開催され参加した。故郷は人情厚く、私達はわが郷土を誇りと思っている。交流会は継続されてこそ意義がある。十一月開催予定の東京高山会には是非参加を」と

挨拶があり続いて関西高山会中本事務局長より「関西高山会で役員交替があり市原会長がご勇退になり新しく田辺正義氏が就任された」と報告があった。

田辺新会長より自己紹介があり「毎回交流会に参加しているが田舎の匂いは懐かしい」と挨拶があり、続いて樗出身の山根節夫氏より「ふるさと交流会は立派な企画で心からお礼を言いたい。益々の地域発展を祈る」とそれぞれ祝辞があった。高村自治会長の乾杯音頭により焼き肉会に移行した。

テント設営（七張）の会場は焼き肉や婦人会手造りの寿司を手に参加者約二百五十名のパーティ会場となり、午後五時高山神楽団の演舞を観賞しながら友を求め、旧知を温め賑やかに交流を深めた。

続いて納涼盆踊りが始まり城山にこだまする太鼓と共に人の輪が広がり盛会であった。

今回は前日の台風の影響で開催が憂慮されたが、盛会裏に終えて帰省者の皆様、関係諸団体の皆様本当に御苦労様でした。深く感謝申し上げます。

「ふる里で心身ともリフレッシュ」

関西高山会事務局長 中本 弘

恒例の都市交流会の前日は、台風十二号の影響で集中的に雨風がそれも当日の十五日の朝方まで降り続いた。

本年の交流会は一味違うやり方、午後四時から大代公民館前広場で焼き肉パーティである。天候のよしあしが行事を進めていくために大きく影響するので、主催者である公民館長を始め、関係者の方々は「晴れになれ」と祈る気持ちであったであろう。その気持ちが大江高山を通じて天に届いたのであるか、午後は台風一過の爽やかな天候大江高山もくつきり姿を現し、夏特有の強い日ざしの中で実施された。来客の私らまで「ああ良かった」と会場で出席の方々と肩をたたきながら喜びあった。

受付の午後三時三十分頃から地元は元より、各地から帰省した懐かしい顔と顔、お互いの元気な姿を確認するかのよう会場にあちこちに小さな輪が「輪になって」「和になって」「都市交流会のほほえましい風景が、会場一杯

にかもし出された。会場を見下ろす大江高山も私の目には嬉しそうに映った。午後四時から都市交流会が司会者の進行で始まり、その舞台は大江高山の正面に位置し、高山に向かって「今年も無事都市交流会をやっているぞ」と呼びかけるように先ず主催者の市原大代高山会長の挨拶、次に田中東京石見高山会長、田辺関西高山会長がそれぞれ祝辞、最後に大代町樺出身の山根大田警察署長の祝辞があった。

一連の行事の後は焼き肉パーティ。地元産の木炭を使い、島根和牛の肉をテッキの上のせジュー、ジューと焼いた。高山をはじめ周囲を山に囲まれた中での焼き肉の味は大阪ミナミの真ん中で食べるのとは同じ焼き肉でも違った味がした。

恒例の神楽のダイナミックな舞いと囃子が雰囲気盛り上げ、会場内のどの顔も満足、ふるりの匂いがしっかり身にしみたと感じた感じであった。交流会に出席して明日への活力が生まれ身も心もリフレッシュし、ありがとうありがとうと再会を約束した。

山青きふる里、水清きふる里、そし

て心のふる里、いついつまでも私共ふる里を共有する者の帰りをそのままの姿で待っていてほしい。

「ゴルフコンペを終えて」

下市 佐藤哲朗



今回の高山会ふるさとゴルフコンペの発端は、六月十六日金城CCで行った高山球友会の反省会の席で、熊谷徳夫さんから盆に帰省される方と一緒にゴルフコンペを企画したらとの提案がありました。遊び好きの仲間が中心となりゴルフ場の予約等の段取りをしました。が、如何せん大代町在住以外でゴルフをされる方が把握出来ず、東京・関西高山会名簿をたよりにリ下手な鉄砲撃ちや当るリで二百通の案内を出し、十九名の帰省者と地元十三名を合わせ八組三十二名にて水明CCで開催する事となりました。

今年には帰省を計画していなかったがこの為に埼玉から参加された方や、中には大阪の山口正晴さん（下市出身）のように前日から水明CCに宿泊して

参加された方もありました。

当日は後半、台風十二号のため散々のコンディションでしたが、結果は、優勝・渡井和幸さん（川上出身）二位・永井利樹さん（下市）三位・渡利秀明さん（山田出身）で無事終了する事が出来ました。

今回案内漏れがあり大変失礼をしましたが、この「ひろば大代」を読みゴルフをされる方がおられましたら、次回開催時の為、左記事務局又は公民館まで連絡下さい。

大田市大代町大家一七〇二

大家郵便局内

高山球友会事務局 渡 剛

☎〇八五四八（五）二二〇〇

「同窓会に出席して」

愛知県豊田市 山根 哲

今回昭和十年に小学校を卒業した私達の同窓会を七月二十七、八日に仁万の温泉旅館で開きました。実はそれに先だち、昨冬阪神大震災の折、一ノ名甲さん（往時大家村長だった一ノ名氏子息）が、品川美恵さん（旧姓市原）

へのお見舞いの電話をされたのがきつかけて、同窓会をしようと言う事になり、小田原、千葉と電話が飛び交い、たちまち話が煮詰まり、昨夏三瓶温泉で開催しました。

それぞれ五十年より六十年ぶりの再会で、お互いに名乗りあつて初めて誰かと判り、話しあつていくうちに幼き日の面影を見出して懐かしく語り合った事でした。しかし、多忙の中をやりくりして参加された方もあり、一同揃つてゆっくりという訳にも行かず、名残り惜しく、又来年の再会を約して別れました。

今回の参加申込は当初十二名でしたが、皆七十を過ぎると体調も崩れやすく足腰の痛みや手術をされる方も出て欠席の電話が三名あり残念でした。

仁万の温泉旅館は、今野教枝さん（旧姓今田）のお世話により、九名参加して一泊し、ゆっくりくつろいで心おきなく語り明かしました。

翌二十八日には懐かしい故里、大家に向かい午前中には母校と近辺を散策しましたが、母校の跡地は公民館とな

つていて、折から婦人会の役員の方々が会合を開いておられて私達一行を温かくお迎えいただき、お互いに紹介しあつて一刻を楽しく過ごさせて頂きました。

昼前には正法寺で同窓生物故者の追弔のお経を同窓生の松島定宣さんにあげていただき、一同在りし日の友達を偲び冥福をお祈りしました。蟬時雨の中のお寺で聞くお経は正に閑寂の境地で、心の洗われる思いがしました。

午後解散となりましたが、矢上の老人ホームに入所しておられる原田寿恵さんのお見舞いに有志で行きました。昨年も有志で行きましたが、その時より言葉が少し話し易くなつておられて安堵しました。

故里の大らかな佳さと懐かしさを充分に味わい、折があれば又の思いを胸に抱きそれぞれ帰路に着いた事と思えます。

他郷にいる者にとって故里は財産です。故郷の皆様のお幸せを念じてペンを置きます。

\*\*\*\*\*  
\* 九月の行事予定 \*  
\*\*\*\*\*

◆1日(日) 福祉委員会

◆5日(木) ダイヤゾンボール教室

◆8日(日) 福祉弁当

◆15日(日) 大代町敬老会

◆22日(日) 連合自治会

◆29日(日) 町民運動会

★——★ おしらせ ★——★

◎赤ちゃん おめでとう!

柿田 谷口俊二さん 耕平くん

直美さん

八反田 茶田武志さん 大輝くん

明美さん

◎祝儀優勝!

・西部地区寿会グランドゴルフ大会

団体二位 大代チーム

・西部地区グランドゴルフ大会

二位今田不三夫・渡利愛子(同点)

◎社協大代支部より

上飯谷 山根豊澄様から

山田 池田和子様から

それぞれ香典返しに替え御厚志を頂きました。厚く御礼申し上げます。